

令和元年度 小山町立駿河小山幼稚園 園評価自己評価書

- 1 教育目標 「仲良く遊ぶ駿河小山っ子」
(考える子・思いやりのある子・元気に遊ぶ子)
- 2 重点目標及び具現の方策
重点目標：「あいさつのできる子」の育成
具現の方策：・明るく元気なあいさつ運動の推進。
・幼児一人一人の特性や発達を捉え、主体性が育つ援助や環境構成の工夫をする。
・地域の人や物との触れ合いをとおして、感性豊かな心を育む。
・子ども・教師・保護者・地域との温かいかかわりを大切にし、教育効果を高めていく。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	B		B	B
保育指導	B		B	B
保健管理・食事	B		B	B
安全管理	C	マニュアルの共有やヒヤリハットの活用など、職員全体で意識して取り組むことができていなかった。	C	B
特別支援教育	C	指導計画の見直しや個の成長を職員間で共有するなど、取り組みが不十分だった。	C	
組織運営・情報管理	B		C	B
研修	C	内容を明確にし、事前研修を行うなど、工夫が必要であった。	C	
教育目標・園目標	B		C	B
情報提供	C	園便りやクラス便りの情報をわかりやすく、明確にする必要があった。	C	C
保護者・地域との連携	B		B	B
子育て支援	B		B	B
施設・設備	B		C	B

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの気づきの中に、子どもの数が増えることによるトラブルの心配があげられていた。保護者には、こども園化になることへの不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が増えることにマイナスイメージを持つのではなく、プラスイメージとなるようにしたい。 ・様々な体験を活かしていけるよう、子ども達への環境の工夫を行い、保護者へはボードフォリオなど、視覚的に伝えられるような工夫していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・園からの情報を保護者にわかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在園便り、クラス便りで保護者には月の行事や、詳細を知らせている。内容が重複することがある。園便りとクラス便りの目的をはっきりさせ、わかりやすくしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修など、短時間に充実した内容で行えるようにするにはどうしたらよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の悩みや、知りたいこと、研修したい内容など事前にアンケートを行うなど、具体的な内容を明確にする。 ・年間計画に入れ、研修部員を中心に園長、主任とで方法等考えていく。

5 評価全体を通して

- ・保育計画や教育課程については保護者、職員共に高評価を得ている。これは先生方の「一人一人の子どもとの信頼関係を元に、子どもを理解し、保育・教育にあたっている」からと考える。今後も園と家庭そして地域を含めた連携を大切にしていきたい。
- ・保護者アンケートの中で、こどもの姿について、「わからない」や「無回答」がある。保護者自身の捉えもあるが、“園での子ども様子がわからない”ということも考えられる。現在行事をボードフォリオで伝えているが、普段の活動の様子を貼り出すなど、日常的な姿を発信していくことの必要性を感じた。
- ・今後は職員間での報・連・相を基に情報共有を行い、一人一人の子どもの成長を共有していきたい。